

誰もがつながりあって安心して暮らせる まち 上尾

# あげお社協だより

168号

令和4年(2022)

2月1日号

年3回  
(6月・10月・2月)  
発行



あげお社協だより・生活支援ボランティア情報ふれふれ合併号

※「ふれふれ」には、人と人とのふれあいとボランティアを応援する(フレーフレー)という願いが込められています。



寄稿

## 「コロナ禍で見直す

## 「家族や地域とのつながり」

～聖学院大学

人文学部

田澤 薫氏

特集1 「その人らしく暮らせる

地域を目指して」

～心と体で感じる福祉教育～

「コロナ禍における地域の取り組み紹介

特集2 「誰もが大切だと思える

人とのつながり、心のつながりを切らないために」

- 第31回地域福祉を考える集いのお知らせ
- ボランティア活動報告
- 感謝顕彰対象者のご紹介・善意銀行の報告・ボランティア活動保険のご案内
- 令和3年度上尾市社会福祉協議会会員募集・赤い羽根共同募金の報告
- **お知らせ掲示板**  
(災害ボランティア養成講座「ふれあい電話利用者募集」電話リレーサービス説明会のお知らせ)

編集  
発行人

社会福祉法人

上尾市社会福祉協議会・ボランティアセンター

〒362-0011 上尾市大字平塚724番地上尾市総合福祉センター内

TEL 048-773-7155 FAX 048-772-8647

この社協だよりは、共同募金配分金を活用し発行しています。

●ポスティングに関するお問い合わせは、(株)埼玉ロジスティックス(048-726-9240)までご連絡ください。

▶公式 Twitter はじめました  
[https://twitter.com/ageo\\_shakyo](https://twitter.com/ageo_shakyo)



Mail / [ageo-sha@mb.jnc.ne.jp](mailto:ageo-sha@mb.jnc.ne.jp)  
URL / <http://www.ageo-shakyo.or.jp/>

あげお社協



ホームページ

# 特集1 「その人らしく暮らせる地域を目指して」

～ 心と体で感じる福祉教育 ～

ふくし(福祉)とは、

ふだんのくらしをしあわせにする  
ことです。

福祉教育とは、ふだんの暮らしの中の困りごとに気付き、それを様々な人と一緒に考え、解決に向けて行動するための力を育むことを目的としています。

上尾市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、福祉教育の一環として、市内の小中学校で取り組む「総合的な学習の時間」などで、児童・生徒の皆さんと一緒に「ふくし(福祉)」について考えるきっかけづくりをしています。

具体的には、福祉体験学習として、障がいのある当事者の方、ボランティアグループ、地域の方にご協力をいただき、障がいの疑似的な体験と、当事者の方から「福祉講話」という形で普段の生活の様子などをお話していただき、自分や皆が幸せに暮らせるために何ができるかを、講師や先生、児童・生徒の皆さんと一緒に学んでいきます。

今回は、福祉体験学習にご協力いただいている方々の声をご紹介します。

## 地域とともに生き生きと活躍したい

市内在住の浅賀さん。「小学生の時に視力0.5、会社員になり0.01、42歳で白内障と緑内障を患い完全失明となりました。会社員時代に電車で都内まで通勤をしていましたが、定年後の今は週2回、趣味の卓球を楽しんでいます。」と福祉体験学習の中で、いつもお話をしてくれます。浅賀さんの福祉講話を聞いた児童・生徒の皆さんからは「目が見えないのに一人で会社へ

行ったりスポーツができるとは思わなかった。」「白杖体験をして目が見えないのがとても恐怖に感じた。」という感想をたくさんいただきます。「障がいがあってもできないことはあるけれど、少しの助けがあれば何でもできるよ。僕は、目が見えなくなると光や形を失ってしまったけれど、こうしてみんな(児童・生徒)の前に来ることが一番の幸せです。」と浅賀さんからお話を聞くと、児童・生徒たちの「大変」「不自由」「不幸」というイメージが大きく変わっていきます。

「障がいがあってもできないことはあるけれど、少しの助けがあれば何でもできるよ。僕は、目が見えなくなると光や形を失ってしまったけれど、こうしてみんな(児童・生徒)の前に来ることが一番の幸せです。」と浅賀さんからお話を聞くと、児童・生徒たちの「大変」「不自由」「不幸」というイメージが大きく変わっていきます。



浅賀さん



体育館でのアイマスク体験

## 見た目は違うけど何も変わらない

市内在勤のAさん。元々介護職をしており、20代前半でスポーツ事故によって下半身不随になりました。病院の先生に一生寝たきりと宣告されましたが、リハビリの甲斐があって現在は社会復帰を果たし、大好きな車いすバスケット

ボールを始め、生き生きとしています。「車いすに乗って大変なことはあるけれど大変なことばかりじゃない。歩いていたらより見える景色が広がったよ。」「みんなが、高い所の物が取れなかったときに背の高い子に頼んでいるのと一緒の感覚だよ。」と言います。「車いすの操作はすごい大変だった。だけど、周りの協力一つで車いすの人の日常はガラッと変わるんだな。」「これからは車いすの人を見かけたら声をかけよう」など児童・生徒の皆さんからの声を聞くと、意識や考え方が目に見えて変わっていくのを肌で感じるので、福祉体験学習はやはりやるほど面白いとAさんは言います。また、車いすの適切な使い方や、何故使用するのかを理解しようとする児童・生徒の皆さんを見ると、福祉に関心が高まってきているなと思うことも多いそうです。



体育館での車いす体験



車いすバスケットボール体験

## 楽しく体験し感じよう

手話パフォーマンスグループ Sign(サイン)さん。音楽の楽しさと手話のすばらしさを多くの方に知ってもらい、障がいのあるなしに関係なく一緒に楽しんでもらいたい、また手話への興味の裾野を広げたいと活動しています。

代表の三角さんは、「手話を難しいと思わないで楽しく感じてほしい。小中学生と一緒に体験することで、楽しいという思いを共に感じたい。また、パフォーマンスとしてからだ全体で伝えることに恥じらいをなくすと、自然と当事者の方とも一体感が生まれます。」と言います。福祉体験学習終了後には、児童・生徒の皆さんから「手話は難しいと思っていたけど、パフォーマンスだと思つてとても楽しく、もっとたくさんの手話を覚えたいと思った。」と感想がありました。

Sign(サイン)の皆さんは「今後、上尾の地域で活動の場を増やしていきたい、様々なパフォーマンスをしながら自分たちの活動を広げていきたい。」と熱く語っていました。



先生も交えてのパフォーマンス



皆で曲に合わせて♪



Sign(サイン)の皆さん

福祉体験学習を通して皆さんに伝えたいことは、「ふくし(福祉)」とは「障がい者」や「高齢者」のためのもの、といった特別なものではなく、皆が幸せになるための身近なものであること、「ふだんのくらしのしあわせ」は、皆で一緒に作っていくものであるということです。「みんな違っていいんだ」と気付き、それを認め合つて共に暮らしていこうと思える心が芽生えることで、人や地域とのつながりがより実感できるのではないのでしょうか。

誰もが大切だと思える

人とのつながり、心のつながり

を切らないために

～これからの地域の取り組み、人生100年時代に向けて～

「工夫しながらみんなで楽しく！」わくわくサロン上平塚の取り組み

「参加する皆さんに『わくわく』した気持ちになってもらいたい」そんな思いを込めて立ち上げたサロンでは、歌謡ショーや講演などの催しに、スタッフ同士で考えたストレッチや手作り工作を取り入れ、参加型で楽しめるサロンを毎月開催していました。

しかし、新型コロナウイルスが流行し、感染拡大防止のため、集会所の利用や集まることができなくなりました。すぐに、サロン中止のお知らせとスタッフ



▲(上)カラフルなチラシで目を引きます



のメッセージを添えたチラシを作成し、参加者宅にポストイングを始めました。ポストイングをしていく中で、「人と会って話したいわ」「人に会えないと寂しいね」という声が聞こえてきます。その声にスタッフの間では、参加者を心配する声がありました。スタッフ会議を開き、「これまで築いたつながりを絶やさぬように」と、話し合いを始めました。

話し合いを重ねる中で、「集まることのできなくても、何かできることはないか」と模索しました。そこで、「屋外でサロンを行うのはどうか」との提案があり、令和2年10月より新たな形で再スタートを切りました。今では、2ヶ月おきに開催しています。

感染対策のもと、久しぶりに顔を合わせた参加者からは、「しばらくぶりね、元気だった？」と、嬉しそうな声や笑顔が会場中に溢れました。

▲(左)皆さんのアイデアが光るスクラッチアート



各自で取り組んできたスクラッチアートを持参してもらい、参加者同士で見せ合いました。思い思いにデザインされた作品に見入りながら、「とてもきれいなね」「細かいところまで手が込んでいてすごいわ」と会話に花が咲きました。体操も行います。音楽に合わせてたり、道具を使ったりしながら、青空の下でしっかり身体を動かしました。少し汗もかいて、気分爽快です。

また、サロンの開催が無い月は、スタッフお手製のチラシと、自宅を取り組める体操のプリントなどを持って、安否確認を兼ねて戸別訪問も行っています。スタッフからは、「参加する皆さんが、和気あいあいと楽しめるサロンを行ってほしい」とサロンに対する変わらぬ熱い思いが聞こえてきました。アイデアと工夫でどんな取り組みが生まれるのか、これからが楽しみです。



▶(右)使用する道具は、スタッフの手作りです。



▲ナンプレで頭の体操も行いました。

第31回 地域福祉を考える集い YouTube配信!! 今できることフレイル予防! これからもフレイル予防!

～ Withコロナでできることを、できる範囲で意識して続けること～

配信開始日

令和4年 3月1日(火)～



ふじわら よしのり 藤原 佳典 氏【プロフィール】 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長(チームリーダー) 北海道大学医学部卒業、京都大学病院老年科、東京都立大学都市研究所を経て京都大学大学院医学研究科修了(医学博士)。2011年より現職。多世代共生の地域づくり・ソーシャルキャピタルの視点から高齢者の社会参加と介護予防について実践的研究を進めている。

- 講師 藤原 佳典 氏 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長
●事例紹介
●上尾市社会福祉協議会西上尾第二団地支部
●上尾市リハビリテーション連絡協議会



ホームページはこちら

▶視聴方法
・YouTubeのサイト内で、第31回地域福祉を考える集い 検索 または、上尾市社会福祉協議会ホームページからアクセスできます。
・スマートフォン、PC等のモバイル端末で、ご視聴ください。
注：動画視聴にかかる通信料等は、視聴される方のご負担となります。
▶問い合わせ
電話 048-773-7155 月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00
地域福祉課地域係「地域福祉を考える集い」担当

～皆さまとともに考える機会として、YouTube配信します。是非、ご視聴ください!～

(※注)フレイルとは...『加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態』を表す“frailty”の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語 厚生労働省「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン」より

社会福祉協議会では、前号からの特集記事で、コロナ禍における地域の取り組みを紹介しています。長引くコロナ禍であらためて地域活動による「人とのつながり」が求められています。今回は、上平塚地区での工夫やアイデアを凝らした取り組みをご紹介します。こうした状況に関連するシンポジウムの開催についてお知らせします。 これからのWithコロナでの地域の取り組み、そして人生100年時代と言われる中で、一人ひとりが健康長寿で生活していくための必要なことについて、地域にお住まいの皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



Contribution

## コロナ禍で見直す “家族”や“地域”とのつながり

コロナ禍というように、新型コロナ感染症がもたらした社会の状態は「禍(わざわい)」と呼ぶ他ありません。奮闘する大学生たちの傍らにある中で、福祉の課題に気付かされる昨今です。

聖学院大学 人文学部 児童学科 教授 田澤 薫

田澤 薫(たざわ かおる)  
お茶の水女子大学卒業、お茶の水女子大学大学院修了、博士(人文科学)  
国際医療福祉大学医療福祉学部専任講師、尚絅学院短期大学助教授、尚絅学院大学女子短期大学部准教授、聖学院大学准教授を経て現職 『留岡幸助と感化教育—思想と実践—』(勤草書房)、『仙台基督教教育院史から読む 育児院と学校』(東北大学出版会)とともに単著 上尾市子ども・子育て会議委員



### 学生の姿から世帯単位の福祉の限界を思う

子どもの貧困対策の推進に関する法律以降、高等教育の修学支援新制度もスタートし、家庭の経済状況に関わらず学べる制度の整備は進んでいます。私たちが大学で出会うのは、ともかく大学教育にまで到達した人たちです。ところが、コロナ禍の苦境に家庭が陥ったとき、家庭

### オンラインの向こうに思いをめぐらす

福祉や教育の現場でも、オンラインの活用が進みました。オンラインによる人とのつながりや活動の共有自体は、活用する私たちが慣れるにつれメリットも増えてきました。体調不調でも、遠方からでも、忙しくて時間調整が難しくても、参加を諦めずにすみませす。大学生にも不調の日はあり、教室に居ることが難しい時でもオンライン授業であれば参加の方法について相談できる場合もありました。一方で、オンラインには人の気配がなく、五感に触れる余地が乏しい点が決定的です。インターネットの「ライン」を「オン」に出来ない人と人影さえ残せず、慌てて参加しようとしている息づかいも伝わりません。つながらないラインは無と認識されがちです。意思や願いがあるのに：無として扱われることは、自己肯定感がゆらぐ危険があります。単に、ネットがつながらないだけのことが人格をおびやかす可能性があることを、承知しておきたいと思えます。

オンラインの場合、場は共有できても体験や理解の共有にならないことがあり得ることに、後から気付きました。オンラインで面談する際、画面に写り込んでいない場所に第三者が居るかもしれない：と考える必要があるかもしれません。オンラインの場合、場は共有できても体験や理解の共有にならないことがあり得ることに、後から気付きました。オンラインで面談する際、画面に写り込んでいない場所に第三者が居るかもしれない：と考える必要があるかもしれません。

### 「え?!」と思うときは心に留めておく

大学等のオンライン同時双方向の授業では、学生はカメラやマイクをオンにして発表する等の参加を求められることがあります。この大々でも、学生に無理が生じないよう慎重に運用されていると思われませす。ところが、実際に行ってみると、求められてもカメラやマイクをオンにせず、重ねて求められると授業から「退出」(オンラインのスイッチを切ること)して行く人がいます。無断で、です。そんなとき、「どうしたのだろう?」と心に留めておいて、「Aさんが○曜日の○時間目に、グループワークになるタイミングで黙ってオンライン授業から退出した」といった情報を教員同士で共有していくうち、特定の曜日や時間帯に「オン」しない等の傾向がみえてくる場合があります。オンライン授業では、学生は「家庭のエリア」から参加せざるを得ませす。知られたくない家族、感情制御が苦手で大きな声が出るかもしれない家族、いろいろあつて壊れた場所がある家庭、「も

す。画面の相手と自分の二者面談のはずが、画面に写らない場所で第三者が耳を傾けており、直接的／間接的な影響が生じることが起こります。大学のオンライン授業の場合にも、ご家族が意図して参観／参加なさらなくても家庭内では自然に聞こえてしまうことはあり、ご家族の反応が学生の言動に影響するのは当然です。オンライン面談にあつてはなおさら、相談したいことがあつても家族に聞こえる環境では打ち明けられず、「あ、大丈夫です」としか言えないこともあるでしょう。オンラインの向こうの世界は「家庭のエリア」です。深刻な時こそ、語りの後ろにまだ言えない本意があるかもしれないと、心しておきたいものです。



し知られてしまったら：」と思うとカメラやマイクはオンにできないでしょう。

学校や職場等の社会的活動の場は、本来、こうした「知られたくない部分」を家庭に置いて一人で参加できる場所です。家族的な背景から切り離されて、個人として受け入れられ認められる場所と経験は大切です。オンラインのマイクとカメラは、本人が知られたくないことを暴露くものではありません。一方で、家庭内の知られたくないことは若年者や弱い立場の人の不当な苦勞や困窮につながる場合が多くあり、当事者だけの解決は困難です。「どうしたのだろう」で終わらせず、「もしかしたら：」の含みを心に留めておくことで、隠れた真のSOSに気付き支援につなげる機会ともなり得ます。

地域でも、日ごろから顔を合わせたり挨拶を交わしたりする積み重ねが、様子の変化に誰かが気づき、必要な人が福祉の専門機関につながる可能性を生みだすでしょう。困りごとの最中にある人の表現は、無礼に見えることも少なくありません。そうした姿に「え?!」と感じ、SOSかもしれないと受けとめることが、大切な取組みです。

こうした気付きをコロナ禍の今も、コロナ禍以後も生かしていきたいと切に願います。

# ご協力をいただいた方々へ感謝状を贈呈いたしました。

上尾市の地域福祉推進のため、本会を通じて寄付をされ、ご協力いただきました、個人6名及び9団体の皆さまに、感謝状を贈呈いたしました。対象となった皆さまをご紹介します。ありがとうございました。

※例年、地域福祉を考える集いにおいて感謝状を贈呈させていただいておりますが、新型コロナ禍という状況を鑑み、紙面への掲載に代えさせていただきます。



受賞者 季節料理 太郎 様

- 〇 大川 カネ 様
- 〇 大村 忠助 様
- 〇 春日 進 様
- 〇 工藤 孝一 様
- 〇 関根 洋平 様
- 〇 ミッキーアトリ 様
- 〇 上尾遊技業組合 様
- 〇 イオンリテール株式会社 様
- 〇 株式会社スパンコア 様
- 〇 河野歌謡教室 様
- 〇 季節料理 太郎 様
- 〇 特別養護老人ホーム 葺きの里 様
- 〇 原市九区いきいきクラブ 様
- 〇 藤其流舞踊本部 宗家家元 藤其幸小町 様
- 〇 明治神宮崇敬会 上尾支部婦人会 様

## 善意銀行にご協力いただきありがとうございました

お預かりいたしました寄付は、有効に活用させていただきます。

### ◆善意銀行

善意銀行 (寄付金)		
寄付者	寄付金 (円)	寄付先
株式会社 スパンコア	50,000	子ども食堂「とまと」
株式会社 スパンコア	30,000	子ども食堂「でんでん虫」
オーロール モリ	16,420	子ども食堂「でんでん虫」
フードドライブ募金箱	4,561	フードパントリー「パプリカ」
フードドライブ募金箱	4,562	みどりフードパントリー上尾
上尾グリーンガーデン 西原温室事業所	200,000	上尾市社会福祉協議会
原市八区さくら会 手芸クラブ	10,000	上尾市社会福祉協議会
前田 良祐	50,000	上尾市社会福祉協議会
万葉の会	66,834	上尾市社会福祉協議会
ミント Eco Club	5,000	上尾市社会福祉協議会
匿名	26,655	上尾市社会福祉協議会
原市九区いきいきクラブ	11,678	上尾市社会福祉協議会
匿名	50,000	上尾市社会福祉協議会
戸崎ゴルフクラブ	10,000	上尾市社会福祉協議会大谷支部
匿名	22,600	上尾市社会福祉協議会
上尾遊技業組合	100,000	上尾市社会福祉協議会
虹の会歌謡教室	30,000	上尾市社会福祉協議会
上尾市いきいきクラブ連合会	37,482	上尾市社会福祉協議会

◆令和3年9月1日～令和3年12月31日受付分 (敬称略・順不同)

善意銀行 (寄贈品)		
寄付者	寄贈品	
あすか倶楽部ナビ	お菓子 段ボール1箱	
井上 智穂	ペットボトル飲料24本	
オータ桶川駅前店	お菓子 段ボール2箱	
大橋 一枝	着物 9枚	
柏座一丁目町内会	アルファ米(わかめごはん) 50食	
コンサートホール上尾	お菓子 段ボール6箱	
山田 清司	ゼリー飲料 190個	
相頓寺	タオルケット14枚、パジャマ1着、浴衣3枚	
上尾白ゆり会	タオル 1,854枚	
三井金属鉱業(株)銅箔事業部	不織布マスク 20,000枚	
御菓子処 駿河屋	車イス 1台	
十連寺	お菓子 段ボール2箱	
季節料理 太郎	おでんセット 300個	
株式会社アイコーポレーション	水(2ℓ)171本、パン缶238個、アルファ米239個	



## 令和4年度 ボランティア活動保険のご案内 3月8日より受付開始

ボランティア活動中の事故やケガ、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊した場合に支払われる保険です。

保険料	天災・地震補償プラン		【新設】
	基本プラン	特定感染症重点プラン	特定感染症重点プラン
350円	500円	550円	

※保険料、補償内容等は毎年見直しがあり、変更となる場合があります。

補償期間 令和4年4月1日0時から令和5年3月31日24時まで  
※年度途中の加入でも補償期間は3月31日で終了します。

- 受付窓口
- ♥ **上尾市ボランティアセンター**  
場所：上尾市大字平塚724番地 月～金曜日(祝日を除く)  
TEL：048-773-7155 時間：8:30～17:15
  - ♥ **ボランティアビューロー**  
場所：上尾市柏座4-2-3 火～土曜日(祝日を除く)  
TEL：048-776-1988 時間：9:30～16:30
  - ♥ **上尾西地域福祉センターほほえみ**  
場所：上尾市小敷谷858-5 火～土曜日(祝日を除く)  
TEL：048-780-1910 時間：9:30～16:00

## 01 夏休みボランティア体験 2021

自宅でぞうきんを作る



「自宅でぞうきんを作る」には、37名の方にご参加いただきました。集まったぞうきんは、約320枚!!  
手縫いで頑張りしてくれた小学生、初めてミシンを使ったという中学生、糸の色を変えておしゃれに作ってくれた主婦の方...ご協力ありがとうございました。

市内の福祉施設に寄付させていただきます!!

## REPORT. ボランティア活動報告

できることを できる時に できる範囲で

ボランティアセンターでは、「夏休みボランティア体験2021」で予定していたメニューの多くを、緊急事態宣言の発令に伴い中止としました。唯一実施できたメニュー(自宅でぞうきんを作る)や、その後実施した「手作りボランティア活動」などには、多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございます。「できることを できる時に できる範囲で」やるのがボランティアの基本です。今後も、コロナに負けずに、工夫や検討を重ねながらボランティア活動を推進していきたいと思っております。

## 02 第3弾! 手作りボランティア活動

飾れるカード & エコたわし



手作りボランティア企画の第3弾!!107名の方にご参加いただきました。  
「身近な材料で比較的簡単に作れたので良かった」「空き時間に自宅で出来ることだったので、参加しやすかった」「たわしの色の組み合わせを考えるのが楽しかった」等の感想を寄せていただきました。

1 フードドライブ(仕分け)



2 使用済み切手の整理

3 点字



4 高齢者のお話相手(オンライン)

## 初めて実施!! 52名参加しました! 03 冬のボランティア体験 2021

- 1 フードドライブ
- 2 使用済み切手の整理
- 3 点字
- 4 高齢者のお話相手(オンライン)

フードドライブでは、しくみを知り、市民の皆さまから寄付していただいた食品の仕分け作業も行いました。また、高齢者のお話相手(オンライン)は、初の試みでした。  
参加者からは、「楽しみにしていた夏休みボランティア体験が中止になってしまったので、参加する機会があつて嬉しかった」という声を聞くことができました。

# 令和3年度 赤い羽根共同募金 法人・個人大口募金報告

今年度の赤い羽根共同募金運動にご協力いただきました法人・個人大口の皆さまをご報告いたします。  
 昨年度に続き、厳しい経済状況の中でのお願いとなりましたが、“こんな時だからこそお互いに支え合って頑張りましょう”と温かいお言葉とお気持ちをいただくことが出来ました。  
 皆さまからの善意は大切に『自分の町を良くするしくみ』のために使わせていただきます。  
 ご協力いただき、誠にありがとうございました。

上尾東地区
株式会社大塚
ドラゴン株式会社
株式会社島村工業
愛仁クリニック
有限会社文栄堂
大沢精密工業株式会社
株式会社富吉
上尾セントラルテニスクラブ
上尾ゴルフリンクス
大宮石油株式会社
有限会社岡野自動車
中華料理宝来
株式会社共栄製作所
医療法人前田内科医院
小島製作所
山屋産業株式会社
株式会社吉野印刷
税理士法人ルベール
上尾西地区
有限会社谷津サイクル
株式会社内田組
土岐歯科医院
株式会社上尾スイミングスクール
上尾南地区
有限会社横田運動具店
上尾サービスシール協同組合
医療法人藤塚医院
株式会社尾花ビル
有限会社京屋商店
医療法人藤仁会藤村病院
株式会社上尾サービスセンター
有限会社カネリョウ
有限会社安藤商店
医療法人社団福島医院
関口長吉
株式会社名取製作所
上尾テニスクラブ
医療法人社団宗仁会武蔵野病院

平方地区
株式会社マルマンコンサルティング
株式会社遠藤製作所
山忠わさび株式会社
有限会社小嶋製作所
株式会社平方ゴルフガーデン
株式会社フェニックス
株式会社井口工業
原市地区
はらいち団地歯科
妙巖寺
妙巖寺幼稚園
千代本興業株式会社
千代貞雄
株式会社ヒラノ
有限会社常陽会
宗教学者 櫻庭寺
宗教学者 相願寺
三井金属鉱業株式会社
大石地区
株式会社ヤオヒロ
株式会社山崎土建
日幸電機工業株式会社
上尾霊園
栄電業株式会社
原田産業株式会社
株式会社タスクスリー
上尾自動車工業株式会社
アジア耐火株式会社
大石建設興業株式会社
東邦鋼機株式会社
領工会
三美印刷
有限会社イナ企画
株式会社徳田ネジ工業
マナブ・オート
有限会社細野恒産
根本工業株式会社
有限会社谷島工務店
株式会社大亀鋳工所

(令和4年1月11日現在) (順不同・敬称略)

上平地区
株式会社上尾グリーンガーデン
株式会社白田ファインモータースクール上尾
甲原管工業株式会社
ヘアサロンやまと&なでしこ
埼玉県食品流通センター株式会社
株式会社フコク上尾工場
株式会社明生建設
日工精機株式会社
武重外科整形外科
有限会社ウチダ美装
上平大野接骨院
島村電業株式会社
株式会社今川工務店
寿ロジコム株式会社
株式会社中村設備工業所
日産プリンス埼玉販売株式会社上尾平塚店
藤家藤兵衛菓子店
大谷地区
こどもの園プラムハウス
UDトラックス株式会社
藤倉食堂
斉藤自動車整備工場
西光寺護持会
上尾坊山工業団地金曜会
かわぐちペットクリニック
有限会社長谷川電機商会



## 令和4年度 日本赤十字社募金にご協力をお願いいたします

日本赤十字社埼玉県支部上尾市地区(上尾社協が事務局)では、5月を赤十字運動月間として、各地区の自治会長・班長さんのご協力をいただき、活動資金(寄付金)のご依頼を行っています。  
 皆さまからお預かりした募金は、地震など大規模災害時の災害救援に関わる費用や、血液事業等人道的立場、地域社会に根ざした社会福祉事業、自分自身や家族を守る講習会などを実施するための資金として活用されます。  
 赤十字の趣旨・事業活動をご理解いただき、ご支援・ご協力をお願いいたします。

### 日本赤十字社埼玉県支部上尾市地区での活動

※上尾市内で火災や水害などが発生した場合、被災された方に救援物資(布団、毛布、緊急セット)やお見舞金をお届けしています。  
 ※皆さまのお住まいの地区にお伺いして救急法講習会等を開催し、多くの皆さまに「日本赤十字社」の活動をご理解いただけるように努めています。



# 令和3年度 上尾市社会福祉協議会 会員募集の報告

令和3年度上尾市社会福祉協議会世帯・個人会員及び個人賛助会員募集の中間報告と、特別団体会員及び施設会員募集の追加報告です。最終報告につきましては、次号の社協だよりと当協議会のホームページでご報告させていただきますのでご確認いただければ幸いです。

## 世帯・個人会員及び賛助会員報告

(令和4年1月11日現在)

区分	件数	金額
上尾地区(計)	3,523件	2,047,296円
①上尾東	1,411件	810,840円
②上尾西	1,059件	658,451円
③上尾南	1,053件	578,005円
平方地区	950件	545,650円
原市地区	1,706件	1,006,861円
大石地区(計)	3,035件	1,680,200円
①大石東	1,799件	993,500円
②大石西	1,236件	686,700円
上平地区	1,972件	1,193,560円
大谷地区	1,778件	1,000,700円
原市団地	164件	137,000円
尾山台団地	348件	219,500円
西上尾第一団地	268件	199,950円
西上尾第二団地	236件	197,501円
賛助会員	884件	666,900円
合計	14,864件	8,895,118円

## 特別団体会員及び施設会員報告

(令和3年9月8日~令和4年1月11日現在)(順不同・敬称略)

団体名	団体名
平方地区	株式会社大生興業
大石地区	ふじなみデイサービスセンター
	医療法人社団愛友会介護老人保健施設「エルサ上尾」
上平地区	特定非営利活動法人ドリームワークグループホームかがやき
	NPO法人上尾市身体障害者福祉会

ご納入いただきました会員会費は、社会福祉協議会支部の活動や見守り活動、相談支援事業等、「誰もがつながりあって安心して暮らせるまち上尾」を実現するための福祉事業に使われます。  
 皆さまからの会費をもとに、地域福祉活動のより一層の推進を図るよう努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



## 令和3年度 共同募金運動の報告

### 令和3年度赤い羽根共同募金実績

(令和4年1月12日現在)

地区名	実績(円)
上尾地区(計)	3,007,083
①上尾東	1,300,126
②上尾西	787,391
③上尾南	919,566
平方地区	578,953
原市地区	2,565,130
大石地区(計)	2,591,050
①大石東	2,036,670
②大石西	554,380
上平地区	2,117,687
大谷地区	1,709,284
原市団地	93,385
尾山台団地	229,312
西上尾第一団地	278,578
西上尾第二団地	232,309
小計	13,402,771
法人募金・個人大口募金	763,900
街頭募金	63,031
学校募金	316,400
職域募金	1,004,364
合計	15,550,466

### 令和3年度歳末たすけあい募金実績

(令和4年1月12日現在)

地区名	実績(円)
上尾地区(計)	1,770,745
①上尾東	762,713
②上尾西	439,147
③上尾南	568,885
平方地区	374,960
原市地区	1,527,537
大石地区(計)	1,570,491
①大石東	1,189,000
②大石西	381,491
上平地区	1,371,623
大谷地区	999,081
原市団地	集計中
尾山台団地	160,046
西上尾第一団地	198,239
西上尾第二団地	170,824
小計	8,143,546
法人募金・個人大口募金	236,798
街頭募金	246,413
合計	8,626,757

歳末たすけあい法人募金協力団体 上尾市仏教会  
 みやした幼稚園

## 赤い羽根 共同募金運動にご協力いただいた方のご紹介

(順不同・敬称略)

戸別募金：上尾市自治会連合会/自治会長  
 学校募金：児童および生徒/保護者/学校職員  
 職域募金：上尾市自治会連合会  
 上尾市民生委員・児童委員協議会  
 上尾市いきいきクラブ連合会  
 上尾・伊奈地区保護司会  
 学校職員/施設職員/団体職員

街頭募金：ボーイスカウト上尾市連絡協議会  
 ガールスカウト上尾地区協議会  
 上尾市民生委員・児童委員協議会  
 上尾市いきいきクラブ連合会  
 募金箱設置：イオンスタイル上尾店  
 総合福祉センター内





## 災害ボランティア養成講座を開催します

申込みはこちら→



地震や風水害などの災害が発生した場合、被災された方や地域が日常生活を取り戻していくなかで、災害ボランティアによる支援活動が大きな力を発揮します。一緒に災害ボランティア活動について学んでみませんか？

**日時** 令和4年3月12日(土) 13:30~16:00  
**場所** 上尾市総合福祉センター 社会適応室訓練室1・2  
**対象者** 上尾市在住・在勤・在学の方で、災害ボランティアに興味・関心のある方  
 ※小学生については保護者同伴になります。  
**定員** 20名(先着順・定員になり次第締切)  
**参加費** 無料  
**持ち物** 筆記用具、軍手、汚れても良い服装

**内容** 台風19号の状況報告や災害ボランティア活動への心構え、実技等  
**講師** ReVA復興ボランティアチーム・上尾  
**申込み** 電話及び入力フォームにて受付  
**申込期間** 令和4年2月1日(火)~2月18日(金)  
**問い合わせ** 上尾市社会福祉協議会 地域福祉課 ボランティア係  
 TEL 048-773-7155  
 日時 8:30~17:15 月~金曜日(祝日を除く)

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、中止または変更となる場合があります。

## 『ふれあい電話』利用者募集中!!

新型コロナウイルスの感染症拡大防止の影響で以前と比べて人との接触を避けて自宅で過ごす時間が増えている方も多いと思います。会えないけれど、電話で人と話したいな、という方は「ふれあい電話」でお話しませんか？



**利用日時** 毎週木・金曜日 午前10時00分~12時00分  
 午後1時00分~15時00分  
 ※おひとり30分程度。毎週とは限りません。  
**対象** 市内在住のおひとり暮らしの高齢者。  
 日中の外出や話し相手が少ない方。  
 障がいのある方(年齢不問)。  
**申込み** 電話で下記まで。  
**話し相手** 「ふれあい電話」登録メンバー(傾聴講座受講済)  
 ※ふれあい電話は、電話でお話相手・安否確認・見守り活動をしているグループです。  
**問い合わせ** 〒362-0011上尾市大字平塚724番地  
 上尾市社会福祉協議会 地域福祉課  
 ボランティア係  
 TEL 048-773-7155  
 日時 8:30~17:15  
 月~金曜日(祝日を除く)

## 電話リレーサービス説明会

聴覚や発話に困難がある方ときこえる方との会話を、通訳オペレーターが手話・文字と音声を通訳することにより、24時間365日、電話で双方向につながる公共サービスです。

**日時** 3月12日(土)10:00~約1時間  
**場所** 上尾市コミュニティセンター  
 第2, 3, 4集会室  
**講師** 埼玉聴覚障害者情報センター職員  
**対象者** 身体障害者手帳(聴覚障害、音声・言語機能障害)を所持している方  
**参加費** 無料  
**申込み** 上尾市手話通訳者派遣事務所  
 FAX 048-775-5587  
 アドレス ageoshuwa@t.vodafone.ne.jp  
 ①氏名、②連絡先のFAX番号または、メールアドレス、③3/12説明会参加希望を記入  
**その他** 手話通訳、要約筆記あり。コロナ感染状況により中止の場合は参加者へ通知します。



## 生活介護(通所)事業所 職員募集 広告

- 常勤(正)職員
- 朝・夕の送迎スタッフ (アルバイト・パート) ・普通車(AT、ミニバン)
- 時給 1,300円程/女性可
- 常勤職員募集※女性、45歳まで  
 勤務時間 平日 8:30~17:15  
 仕事内容 主に知的な障害のある方への日中生活や作業の支援を行います
- 給与 ※年齢等に応じて加算有  
 大卒/月給 181,000円~  
 高校卒/月給 152,000円~  
 扶養手当/通勤手当/住居手当/超勤手当  
 賞与年2回/退職金制度あり/有給休暇/夏季休暇他

### 応募資格

障がい者支援に熱意のある方  
 未経験OK 経験者優遇  
 マイカー・車通勤OK

ぜひお気軽にご連絡ください!

特定非営利活動法人とさき 住所: 上尾市戸崎384-1  
 電話:048-782-9596 E-mail:tosaki@mx7.alpha-web.ne.jp



## 障害者グループホーム 一の郷 夜勤スタッフ 緊急大募集 広告

週1回の夜勤スタッフを募集しています。障害を持った方の生活をサポートする仕事です。利用者さんの可能性を引き出すやりがいのある仕事です!!  
 介護の資格がなくても、未経験者でも、月1回しか勤務できない方でもOKです!!

- 勤務時間(宿直勤務)  
 16:30~22:00(5.5h)・・・①  
 22:00~23:00(1h)・・・②  
 5:00~8:30(3.5h)・・・③  
 ①+②+③ → 計10時間  
 ※23:00~5:00(6H)・・・休息
- 給与  
 a、時間給  
 ①965円(965円×5.5H=5,308円)  
 ②965円+深夜手当25%(965円+2419円×1H=1,206円)  
 ③1,075円(1,075円×3.5H=3,763円)  
 b、処遇改善手当 1回 600円  
 c、通勤交通費1回100円  
 [a+b+c 10,977円/1回]

社会福祉法人 上尾あゆみ会 一の郷

就業場所 上尾市内



★まずはお気軽にお電話ください。TEL 048-778-8306 (採用担当 総務・新井)